

みんなの 活動だより

2012年7月

第7号

発行:MISHOP 広報部会

ウォークラリー ~ 国際交流を大いに楽しんだ一日 ~

5月20日、気持ちのいい5月の風の中、第16回国際交流ウォークラリーが行われました。

参加者は10カ国115人で19組に分かれて井の頭公園を出発しました。「今日は疲れたが楽しかった。最後はおなかぺこぺこ(台湾)」、「たくさん話した。疲れたがたくさん話ができて良かった(ベトナム)」、「いろいろな情報交換や交流ができたことを嬉しく思います(中国)」、「色々な国の人とチームを組んで交流ができて良かった(キューバ)」、「参加できて良かったです。来年も参加したい(韓国)」、「チームの仲が良く、楽しく歩いたので時間がかかりすぎたが思いの外出となりました(日本)などの感想をいただきました。参加者のみなさん46人のボランティアの皆さん、お疲れ様でした。



Walk Rally

On May 20 (Sun), the 16th International Exchange Walk Rally was held with 115 participants from 10 different countries. Here are some of their comments.

"It was tiring, but fun. I was starving at the end" (Taiwan), "I spoke a lot. I'm tired, but it was good that I spoke to so many people" (Vietnam), "I was happy because I got to share so much information and participate in cultural exchange" (China), "It was good that I was in a team from people from many different countries and could participate in cultural exchange" (Cuba), "I'm glad I could participate. I want to take part again next year" (Korea), "our team got on well and we had fun walking, so I will always fondly remember the long walk" (Japan).

国際理解講座

~ JICA ボランティアが実体験を語る ~

4月21日、「日本人海外ボランティアが見た異文化」という国際理解講座が開かれました。パネリストはJICA ボランティア4人で、実際の活動経験を語ってくれました。

参加者の感想は、「若い方の海外での活動は素晴らしいと思いました」、「今日の話聞いて自分の学ぶ道筋ができました」、「現在の仕事や生き方の中に貴重な経験を活かしているように感心しました」、「皆さんのバイタリティに拍手」、「実体験に基づく講演で国際理解への第一歩となりました」、「皆さんから大きなパワーをもらいました」などの声がありました。パネリストの皆さんは、アジアやアフリカの開発途上国で活動されていました。

International Understanding Lecture

On April 21 a lecture on "Cultures Seen Through the Eyes of Japanese Overseas Volunteers" was presented by 4 JICA volunteers was held to speak to use about their experiences.

Some impressions from participants included the comments "the activities undertaken by young people overseas are wonderful", "hearing them talk today gave me pointers for what I want to study", "I was impressed by how they were making use of their valuable experiences in their current work and lives", "I applaud their vitality", "this lecture based on their actual experiences, is a first step for international understanding", "I gained so much from them".

編集室 Message from the Editors



立仙・新事務局 長

池田前事務局 長に替わって4月に赴任された立仙新事務局 長と、実行委員会が始動した国際交流 フェスティバルの海野実行委員 長に、抱負をうかがいました。

We asked Mr. Rissen who assumed office as MISHOP's executive secretary, replacing Mr. Ikeda, and Mr. Unno, head of the planning committee in charge of the International Festival, about their plans and hopes.

新事務局長に立仙哲也さん

～縁の下の力持ちとしてお手伝いしたい～

Q これまで市役所ではどんなお仕事に携わってこられたのでしょうか。

A 市職員となって三十年余りになります。教育委員会指導室や中央図書館、ごみ対策課、着任前の市民税課まで、市民の顔が見える最先端で働いてきました。

Q 就任されて2カ月経ちました。ご感想を。

A ごみ対策課時代に国際交流フェスティバルでリサイクルごみの販売を担当したことがあって、これだけ大規模なイベントを運営するのは大変だろうなあと考えていました。

着任して、ロビーで毎日、何組ものLLJが行われ、毎週、ジャパニーズラウンジが開催されるのを目にして、外国籍市民の勉強熱心な姿にまず驚き、それ以上にボランティアの方々(会員)の行動力に目を見張りました。

その後、ウォークラリーに参加して、46人もボランティアが集まってくださって、テキパキと活動される姿を見て、さらにその思いを強くしました。

ゴールインしてくる参加者たちの表情は皆、楽しそうで、アンケートにも「来年も参加したい」という言葉が多数見られました。ボランティアの方たちはこの笑顔や言葉に接して、「大変だったけれど参加して良かった、手伝って良かった」と活動の原動力にされているのかなと思いました。

Q 今後の抱負をお聞かせください。

A 皆さんの笑顔の一つでも多く見られるように、縁の下の力持ちとして国際交流活動のお手伝いをしたいと思っています。

New MISHOP Executive Secretary Mr. Tetsuya Rissen

Mr. Rissen has served at Mitaka City Office for over 30 years in various areas ranging from the board of education through to taxation. After approximately 2 months in his new role, he has been impressed by the passion foreign residents have for studying Japanese, as witnessed by him every day at events such as LLJ and Japanese lounge, and even more so by how active MISHOP's volunteers (members) are. He feels that the positive feedback and smiles from participants makes the huge efforts of volunteers all worthwhile, and this is the driving force behind so much of what MISHOP does. Mr. Rissen hopes to support international exchange behind the scenes.

国際交流フェスティバル開催にあたって

三鷹国際交流フェスティバル実行委員会委員長 海野達也

三鷹国際交流フェスティバルが9月23日(日)に開催することになりました。今年で23回目を数え、例年4万人ものお客さまを迎える三鷹市の一大イベントとして定着しています。

これだけ多くの方がいらっしゃるの、世界中の情報が手軽に入る昨今であっても、目の前で繰り広げられる異国情緒あふれる音楽や踊り、食べ物、民芸品などを実感、体験し、触れられることが、深く心に残るからではないでしょうか。開催にあたって多くのボランティアのご協力でも成り立っていることもフェスティバルに輝きを与え、魅力の一つになっていると思います。

5月に実行委員会が立ち上がりました。昨年は東日本大震災が発生したこともあり「手をつなごう、世界はひとつ」というテーマを掲げ「絆」と「感謝」の思いを込めました。今年も引き続き同じテーマで行います。ボランティアの皆さまの知恵と力を結集して、世界の多様な文化、人々をつなぐきっかけが、フェスティバルから発信されることに大きな期待と夢を抱いています。

フェスティバルを通じて、お客さまのみならず、ボランティアの皆さまも、多くの人との交流と文化へのふれあいを心から楽しみ、多文化理解を深めてください。開催に向けて会員の皆さまの温かいご協力をよろしくお願い申し上げます。

Committee for MISHOP WORLD Festival Chairman Mr. Tatsuya Unno

The Mitaka International Exchange Festival will be held for the 23rd time on September 23. The festival is attended by around 40,000 people on average. In this day and age when information from around the world is at one's fingertips, the fact that this event is so well attended highlights the impression experiencing different cultures, food, art, dancing and more first hand can leave.

The organizing committee was formed in May, and hopes to bring together the skills and knowledge of volunteers to bring together people and cultures from around the world.